

令和7年(2025年)4月15日

報道機関各位

函館市消防本部庶務課

行事の取材依頼について

このことについて、下記のとおり実施いたしますので、取材方よろしく願
いいたします。

記

行 事 名	消防協力者表彰
日 時	令和7年4月23日(水)午前10時00分から
場 所	函館市消防本部5階 防災多目的ホール
被 表 彰 者	1. AVENDA FC HAKODATE U-13 2. 40代男性(匿名希望) 2. ^{なかた} 中田 ^{なつえ} 奈津江 3. ^{ふるかわ} 古川 ^{しの} 志乃 4. ^{きむら} 木村 ^{たくじ} 卓爾
内 容	令和6年(2024年)12月13日(金)午後6時36分頃、 函館アリーナ内において、心肺機能停止状態に陥った傷病者 を現場に居合わせたサッカークラブチームおよび4名が連携 して救命処置や救急要請をするなど、傷病者の救命に大きく 貢献したことに對し、消防長から感謝状と記念品を贈呈しま す。

庶務課庶務係

22-2142

《 報道関係者用 》

湯川町 1 丁目（函館アリーナ）で発生した心肺停止救急事案に
協力した団体および市民への感謝状贈呈について

1 協力した団体および市民

(1) 協力団体（団体）

A V E N D A F C H A K O D A T E U - 1 3

指導者 ^{こんの}今野 ^{けんじ}研二ほか中学 1 年生 9 名

(2) 協力者①（個人）

氏 名 4 0 代男性（匿名希望）

職 業 非公表

(3) 協力者②（個人）

氏 名 ^{なかた}中田 ^{なつえ}奈津江

職 業 団体職員

(4) 協力者③（個人）

氏 名 ^{ふるかわ}古川 ^{しの}志乃

職 業 団体職員

(5) 協力者④（個人）

氏 名 ^{きむら}木村 ^{たくじ}卓爾

職 業 公務員

2 対象救急事案

(1) 覚知日時

令和 6 年 1 2 月 1 3 日（金曜日） 1 8 時 3 6 分

(2) 事案発生場所

函館市湯川町 1 丁目 函館アリーナ

(3) 傷病者

3 9 歳 男性

(4) 傷病者の傷病状況等

ア 収容医療機関

市立函館病院

イ 傷病名

肥大型心筋症

ウ 搬送後の経過

令和6年12月31日（火曜日）に市立函館病院を退院している。

3 通報内容

「30歳代男性利用者，意識呼吸なし，AED装着，胸骨圧迫指示，最終健常不明，連れなし」との119番通報。

4 活動概要

フットサルの練習に来ていた**協力団体の中学校1年生9名**は2階ランニングコースで倒れている傷病者を確認，うち3名が2階観覧席に至り，1階メインアリーナにいた**協力団体の指導者**に人が倒れていることを伝え，**協力団体の指導者**は1階カウンターに駆け付け，**協力者①**に状況を伝達した。

協力者①のほか，カウンター裏の事務所内にて状況を知った**協力者②**および**協力者③**は順次傷病者のもとに駆け付けた。

協力者②は，周囲の人にAEDの手配を依頼するとともに119番通報し，うつぶせでいた傷病者を**協力団体の指導者**と協力して仰向けに体位変換し，**協力者④**が搬送してきたAEDを受取った**協力者③**がAEDを装着した。

AEDの解析結果は電気ショック適応であったことから，電気ショック実施（計1回），以降は，**協力者①**，**協力者②**および**協力者③**が交代しながら胸骨圧迫を継続，**協力者①**は人工呼吸も実施している。

また，**協力団体の指導者**は，車両誘導等を実施し，現場到着した救急隊を早期に傷病者へ接触させた。

5 功績の事実

傷病者が倒れ心肺機能停止という予断の許さない状況下において、早期に函館アリーナ職員に情報を伝達、傷病者と接触した函館アリーナ職員が早期に119番通報し、救命処置に着手するとともに、函館アリーナに設置してあったAEDによる電気ショックを実施し、救急隊へ引継いでいる。

協力団体および各協力者の連携による応急処置等は、そのひとつでも欠けていれば傷病者の救命には繋がらなかったものと考えられ、この功績は多大である。

なお、傷病者を収容した市立函館病院救命救急センター医師から「この救急事案は、複数のバイスタンダーが連携して、直ちに用手胸骨圧迫を開始、継続するとともにAEDによる電気ショックを実施したことが奏功したものである。また、心停止の早期認識、迅速な119番通報および一次救命処置という救命の連鎖を途切れることなく速やかに繋がれたことが、傷病者の救命の大きな要因になったと評価できる。」とのコメントを頂いている。